

※文字の大きさは Meiryō UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真 1) (表 1) などと文中に記載し、右ページに(写真 1) (表 1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

※事務局記入欄

【様式 2】

No. 3

エントリー学校名：
 神奈川県立川崎北高等学校

活動名：
 クラウドでオンライン授業
 ～生徒のスマートフォンで学びを継続～

解決すべき課題：
 ○臨時休業が長期化する中、クラウドサービスを活用するなどして生徒の学びを継続する必要がある。
 ○学校の ICT 環境は十分ではなく、教員も経験したことがないオンライン授業が実現できるか不安である。
 ○すべての生徒の自宅のインターネット環境が整っておらず、PC ではなくスマートフォンを前提とする必要がある。

目標・方針：
 ○臨時休業中、スマートフォンとクラウドサービスを活用してオンライン授業を実施し、学びを継続させる。
 ○生徒のインターネット環境の整備は県の支援を待ち、学校としてはやれることからやっていく。
 ○オンライン授業の取組の成果は、GIGA スクール構想の「誰一人取り残すことのない個別最適化された学習」の実現に向けて、ポートフォリオの作成などに取り組む。

活動内容：
 ○クラウドサービスのアンケート機能により生徒の自宅のインターネット環境等を調査した。(図 1)
 ○クラウドサービスのアカウントを年度始めに生徒に配付して、課題の配付、回収を行えるようにした。(図 2)
 ○クラウドサービスのコメント機能で、課題の取組状況の把握やつまずきの解消などきめ細かい指導を行った。
 ○オンデマンド型動画を限定公開設定で配信し、いつでも何度でも繰り返し学べるようにした。(図 3)
 ○授業動画を可能な限り学校のホームページに掲載し、保護者や地域の方にも視聴可能にした。(図 3)
 ○ライブ型配信により、朝のホームルームや質問タイムを実施した。一部科目では授業も実施した。(図 4)
 ○課題一覧(単元名、課題内容、締切、評価基準など)を学校のホームページで公開した。(図 5)
 ○音楽や美術、英語、情報などでは動画、音声データを提出させ、パフォーマンス評価を実施した。(図 6)

活動の成果：
 これまで誰も経験したことのない取組であるため、評価基準を設定して数値的に評価することは困難と考え、自由記述によるアンケートを実施した。(図 7)

【生徒の声】・先生と顔をあわせることができてよかった ・規則正しい生活を送ることができた
 ・先生からのコメントがモチベーションになった ・動画のおかげで課題ができた
 ・動画を止めて確認し、自分のペースで学習できた・画質が粗くて、見えづらかった ・印刷できないとつらい

【保護者の声】・とりあえずオンライン学習に取り組んでいただけてありがたかった・一部でも保護者も動画が見られてよかった・授業動画があって良かった・スマホだと画面が小さくて見えづらい

アピールポイント(アイディアや工夫)：
 ○ICT 環境がすべて整うことを待つのではなく、今の環境を最大限活用してやれることからやっていたこと。
 ○オンライン授業のノウハウを学校ホームページで情報発信し、本校の取組の成果の普及を図った。(図 8)
 ○スマートフォンを活用したオンライン授業の取組の成果により、GIGA スクール構想に近づいたこと。

【川崎北高校】今ある ICT 環境でやれることからやっていく、学びを止めないオンライン学習

神奈川県教育委員会の取組

令和元年度
 ○端末整備(各校に学習者用端末 Chromebook82 台、生徒のスマートフォンもインターネット接続可能)
 ○ネットワーク整備(全校無線 LAN (VLAN により既存・新規併用)、民間の光インターネット回線新規整備)
 ○クラウド利用(全生徒・教員アカウント 12 万人分を管理ソフト eG Class で学校が作成)
令和 2 年度
 ○インターネット環境が整わない家庭にモバイルルータを貸与(月 30～20GB 利用可能)

図 1 本校生徒の状況

令和 2 年 5 月段階

- スマートフォンを所有…………… 99%
- 自分専用の PC を所有…………… 10%
- 家族共有の PC がある…………… 48%
- Chromebook を貸与した…………… 2 人
- 無線 LAN がある…………… 79%
- モバイルルータを貸与した…………… 10 人
- 自宅で印刷できる…………… 60%

本校のオンライン授業の取組

全教科 Classroom で課題配付回収
 新生生は入学式でアカウント配付)

図 2

教員 ← 生徒

YouTube の限定公開により授業動画を配信
 (一部は学校のホームページでも配信)

図 3

週ごとの科目別課題一覧を Web 公開
 (パフォーマンス課題も実施)

図 5

図 6

Meet を使った同時双方向型を一部で実施
 (選択科目、朝の HR)

図 4

図 7 生徒・保護者向けアンケートより

これまで誰も経験したことのないオンライン授業の取組を数値的に評価することは困難と考え、自由記述でアンケートを実施

【生徒の声】
 ・先生と顔をあわせることができてよかった ・規則正しい生活を送ることができた
 ・先生からのコメントがモチベーションになった ・動画のおかげで課題ができた
 ・動画を止めて確認し、自分のペースで学習できた・画質が粗くて、見えづらかった ・印刷できないとつらい

【保護者の声】
 ・とりあえずオンライン学習に取り組んでいただけてありがたかった・一部でも保護者も動画が見られてよかった
 ・授業動画があって良かった・スマホだと画面が小さくて見えづらい

図 8 具体的な取組の成果によるノウハウ

【動画作成のコツ】
 ・動画の撮影はテイク 1、編集しない
 ・説明内容は予め黒板に書いておく
 ・動画の長さは 5 分程度
 ・撮影した端末でアップロードする
 ・できれば姿をだしてアイコンタクトする

【課題の出し方のコツ】
 ・スマートフォンの横向き画面で見やすくする
 ・印刷しなくても取り組める課題にする
 ・キーボードがなくても取り組める課題にする
 ・クラスごとではなく科目全体で同じ課題を出す
 ・生徒に事前にループバックを示す

【ライブ型授業のコツ】
 ・教員の声かけ、雑談、楽しい雰囲気づくり
 ・反応が欲しいときはチャット機能
 ・顔、声出しを強制しない